

# 令和7年度分 市民税・県民税申告の手引き

市民税・県民税は、前年1月1日から12月31日までの1年間に生じた所得や控除の状況を、毎年申告していただくものとなっております。

この申告は、「市民税・県民税の税額決定」及び「所得(非)課税証明書の交付」のほか、「国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の算定」、「各種福祉手当の受給判定」などを行うために必要な資料となりますので、申告書の提出が必要な方につきましては、必ず申告ください。

令和7年度分 市民税・県民税につきましては、**令和7年3月17日(月)**が申告期限となりますので、本紙を参考に期限内に申告していただきますようお願いいたします。

## ●申告書の提出が必要な方

- 1、令和7年1月1日現在蕨市に居住している方
- 2、蕨市に居住していない方で、令和7年1月1日現在、市内に事業所、事務所又は家屋敷を有する方

次の方は申告書が送られてきても**提出の必要はありません。**

- (1) 税務署に対して令和6年分の所得税の確定申告をした方又はされる方
- (2) 令和6年中の収入が給与のみで、すべての勤務先から蕨市役所に「給与支払報告書」が提出されている方
- (3) 令和6年中の収入が公的年金等のみで、「公的年金等の源泉徴収票」に記載の控除に関する情報に修正がなく、かつ生命保険料控除、医療費控除など源泉徴収票にない控除を受けない方
- (4) 蕨市に居住している方の扶養親族や同一生計配偶者の方
  - ※ただし、(4)に該当する場合においても、収入がある場合で(1)～(3)に該当しない方、所得金額が記載された非課税証明が必要な方、国民健康保険、後期高齢者医療制度及び介護保険の加入者で各制度において申告が必要とされた方につきましては、申告が必要となります。

## ●提出方法

**市民税・県民税の申告は郵送での提出を推奨**しております。

同封の返信用封筒は、切手の貼付が不要となっておりますので、申告会場への来場が不要となる郵送での申告を、是非ご利用ください。また、申告書の作成については、申告書に直接記載するほか、蕨市公式ホームページより、申告書を作成できます。詳細は右記QRコードよりご確認ください。

市民税・県民税  
申告書作成ページ



※受付票や添付資料の返却を希望される場合は、「返送を希望する書類名を記載したメモ」及び「返送先の宛先を記載した切手貼付済の返信用封筒」を必ず同封してください。切手貼付済の返信用封筒が同封されていない場合は、返送することができませんので、ご留意ください。なお、マイナンバー記載の書類について返却を希望する場合は、特定記録郵便で返却いたしますので、特定記録の加算料金(210円分)を加えた切手を貼付してください。

市民税・県民税申告書の提出先 **蕨市役所 税務課市民税係** (同封の返信用封筒をご使用ください)

## ●申告受付会場(事前予約制)

申告書の提出は、**返信用封筒を使用した郵送での提出を推奨**しておりますが、対面での申告を希望される方を対象に下記のとおり受付会場を開設いたします。会場は事前予約制となりますので、必ず事前に予約をしてお越しください。

受付会場	開設期間	集合時間	受付内容
蕨市役所(中央5丁目14番15号) 1階 多目的会議室 ぷらっとわらび 南ルート@蕨市役所 東ルート@蕨市役所 西ルート (市民体育館先回り) @蕨市役所 (市役所先回り) @蕨市役所・歴史民俗資料館	2月17日(月)から 3月17日(月)まで ※土・日・祝日を除く ただし、3月2日 の日曜日は開場いた します。	午前9時から 12時まで 午後1時から 4時まで	○市民税・県民税申告受付 ※所得税及び復興特別所得税の確定申告等の会場ではありません。
東公民館(塚越3丁目19番13号) 3階集会室 ぷらっとわらび 東ルート@東公民館	2月12日(水) 2月13日(木)	午前9時から 11時30分まで 午後1時30分から 4時まで	○市民税・県民税申告受付 ○関東信越税理士会西川口支部 の税理士による簡易な内容の 所得税の還付申告※の相談

※簡易な内容の所得税の還付申告とは、給与及び雑収入以外の収入がない令和6年分の確定申告(準確定申告、住宅借入金等特別控除の1年目及び雑損控除があるものを除く)を指します。

## 〈スマートフォンやパソコンからの予約申込〉

★申込期間 **2月3日(月)18時から3月13日(木)16時まで**  
※当日や翌日の予約はできません。2営業日以後分についてご予約ください。

### ★予約方法

蕨市公式ホームページに予約申込専用ページを掲載いたしますので、**必ず事前にお申し込みください。**詳細は右上の二次元コードを読み取りご確認ください。  
※ご家族分など複数人の申告をまとめて行う場合は、来場される代表者のみ予約申込をしてください。

## 〈窓口での予約申込〉

スマートフォン・パソコンで申込ができない方は、以下のとおり予約を受け付けております。

日時	受付窓口	受付時間
2月4日(火)から 2月14日(金)まで	蕨市役所2階 ⑤番窓口 税務課市民税係	午前9時から12時まで 及び 午後1時から4時まで
2月17日(月)から 3月13日(木)まで	蕨市役所1階 多目的会議室 市民税・県民税申告受付会場	

※3月2日(日)を除き、土曜日・日曜日・祝日は窓口での予約申込はできません。

※予約専用ダイヤルも設けております。詳細は広報わらび2月号の折り込みチラシをご覧ください。

## 〈当日受付について〉

事前予約の結果、予約が定員に達していない場合のみ、当日の朝8時45分から各会場で該当する時間帯の整理券を配付します。**すべての集合時間が定員に達している場合は、申告受付会場にご来場いただいても当日受付することができませんので、必ず事前に予約をしてお越しください。**

### 【会場の留意点】※必ずご確認ください

- ・会場は、事前予約もしくは整理券により指定された集合時間を除き入場できません。ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。
- ・近隣住民の方のご迷惑となりますので、午前8時30分より前にはご来場されないようお願いいたします。
- ・予約をしていない方や、整理券をお持ちでない方の申告受付はできません。事前予約のご協力をお願いいたします。

### 【市民税・県民税についてのお問い合わせ】

**蕨市役所 税務課 市民税係**  
蕨市中央5丁目14番15号  
電話 048-433-7707(直通)

※申告受付会場の開設期間は職員が不在となるため、税務課通常窓口での申告相談、申告受付は行っていません。

## ●所得税及び復興特別所得税の確定申告・還付申告等について

### 確定申告は自宅でもe-Tax!

確定申告書等作成コーナーなら金額等を入力するだけで**自動計算**で申告書が完成!

さらに!マイナポータル連携なら控除証明書等のデータが**自動入力**できる!

#### 申告に困ったときは

▶動画で見る確定申告  
確定申告書等作成コーナーの操作方法などを動画でご案内



▶チャットボット「ふたば」  
ご質問したいことをメニューから選択するか、入力いただくと「税務職員ふたば」(AI)が回答



### 〈確定申告会場のご案内〉

所得税・個人消費税・贈与税の確定申告会場を次のとおり開設いたします。  
**会場** 西川口税務署別館会議室(※本庁舎の奥の建物)川口市西川口4-6-18  
※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。  
(令和5年分の確定申告期に使用した臨時駐車場はありません。)  
※確定申告会場の入場には、入場整理券(事前発行又は当日配付)が必要です。

**期間** 令和7年2月17日(月)から3月17日(月)まで  
土、日及び祝日を除きます。ただし、3月2日の日曜日は開設いたします。  
※上記期間前は税務署内に**確定申告会場**はありません。  
※2月14日(金)以前に申告相談を希望される場合は、事前に相談日時等を電話予約していただく必要がありますので、予約なくお越しいただいても対応できません。

**時間** 相談受付:午前8時30分から午後4時(入場整理券配付終了)まで  
相談開始:午前9時から 【問合せ】西川口税務署048-253-4061(代表)

☆事前発行の入場整理券はLINEから☆



国税庁LINE公式アカウント

市民税・県民税申告受付会場  
事前予約ページ

蕨市公式ホームページ  
ページ番号  
[1008265]  
で検索



### ③ 所得から差し引かれる金額に関する事項

**⑬～⑭社会保険料控除・小規模企業共済等掛金控除**  
令和6年中にあなたや生計を一にする配偶者・その他の親族が負担することとなっている社会保険料（国民健康保険税、国民年金保険料など）や、あなたのiDeCoの掛金などで、あなたが支払ったものがある場合は、この控除を受けることができます。該当する欄に金額を記載し、控除証明書などを添付（歳市への納付分を除く）してください。  
※配偶者・その他の親族が受け取る年金から天引きされている国民健康保険税（料）や後期高齢者医療保険料、介護保険料は、あなたの控除の対象にはなりません。

**⑮生命保険料控除**  
新（旧）生命保険や介護医療保険、新（旧）個人年金保険で、令和6年中にあなたが支払った保険料がある場合には、この控除を受けることができます。控除証明書に表示された区分ごとに集計し、該当する欄に金額を記載のうえ、控除証明書を添付してください。

**⑯地震保険料控除**  
損害保険契約等について、令和6年中にあなたが支払った地震保険等損害部分の保険料がある場合には、この控除を受けることができます。控除証明書に表示された区分ごとに集計し、該当する欄に金額を記載のうえ、控除証明書を添付してください。

**⑰寡婦控除、⑱ひとり親控除**  
令和6年中のあなたの合計所得金額が500万円以下で、次に該当する場合には、控除を受けることができます。該当する項目を丸で囲んでください。扶養親族がいる場合は、⑳に必ずご記載ください。なお、どちらの控除も現に婚姻しておらず、事実上、婚姻関係と同様の事情にあると認められる一定の人がいない方が対象となります。  
ひとり親控除・・・総所得金額等が48万円以下の生計を一にする子がいる方に該当する場合  
※この場合の子は、他の人の同一生計配偶者や扶養親族になっていない人に限られます。  
寡婦控除・・・ひとり親控除に当たらない方で、夫と死別（生死不明などを含む）した後婚姻していない方又は夫と離別後婚姻していない方で合計所得金額が48万円以下の子以外の扶養親族を有する方に該当する場合

**⑲勤労学生控除**  
あなたが令和6年12月31日時点で学生であって、合計所得金額が75万円以下かつ給与所得以外の所得金額が10万円以下の場合には、この控除を受けることができます。学校名を記載し、学生証の写しなどを在学を証明するものを添付してください。

**㉑障害者控除**  
令和6年12月31日時点で障害者であった場合には、この控除を受けることができます。該当する障害区分を丸で囲み、等級等を記載のうえ、障害者手帳などの写し（介護保険制度による障害者控除に該当する場合は、障害者控除対象者認定書）を添付してください。  
※あなた以外の方が障害者控除を受ける場合は、㉒～㉔にご記載ください。

**㉒医療費控除**  
あなたや生計を一にする配偶者・その他の親族のために令和6年中に支払った医療費が、一定の金額以上ある場合には、この控除を受けることができます。ご自身で医療費控除の明細書（同封の黄色いチラシの裏面）を作成し、添付してください。  
※医療費の領収書の添付は不要です。領収書は申告後5年間で自身で保管してください。  
〔セルフメディケーション税制による医療費控除の特例〕  
あなたが健康の保持増進及び疾病の予防として一定の取組を行い、あなたや生計を一にする配偶者その他の親族のために令和6年中に支払った特定の医薬品の購入費が12,000円を超える場合には、この特例を受けることができます。〔□セルフ〕にチェックし、特例の明細書（市ホームページから印刷可）を添付してください。なお、この特例を受ける場合は、通常の医療費控除を受けることはできません。

**㉒～㉓配偶者控除・配偶者特別控除**  
令和6年中のあなたの合計所得金額が1,000万円以下の場合で、生計を一にする配偶者の合計所得金額が48万円以下の場合には、配偶者控除（48万円超から133万円以下の場合は配偶者特別控除）を受けることができます。また、あなたの合計所得金額が1,000万円超である場合は、配偶者控除及び配偶者特別控除を受けられませんが、配偶者控除の対象者が障害者であった場合には、障害者控除を受けることができます。  
※配偶者が障害者の場合には、㉔を参照のうえで記載し、必要書類を添付してください。  
※夫婦がお互いに配偶者特別控除を受けることはできません。

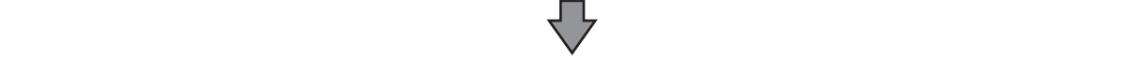
**㉔扶養控除（16歳未満の扶養親族を含む）**  
あなたと生計を一にする扶養親族のうち、令和6年12月31日現在の年齢が16歳以上かつ合計所得金額が48万円以下の場合には、この控除を受けることができます。ただし、16歳未満の扶養親族についても、非課税判定、ひとり親控除、寡婦控除の適用等に影響があるため、忘れずにご記載ください。なお、扶養親族がいない場合には、「扶養親族なし」にチェックをしてください。  
※対象の扶養親族が障害者の場合には、㉔を参照のうえで記載し、必要書類を添付してください。

**雑損控除（申告書裏面㉔）**  
災害、盗難又は横領などにより、住宅や家財等に損害を受けたときや災害関連の支出があるときは、雑損控除の対象となりますので、関連する資料の写しを添付してください。

**〈㉒～㉔の注意点〉**  
同一人を複数の方が扶養親族等とすることはできません。扶養親族等の有無は、令和6年12月31日時点で判断します（年の途中で亡くなった場合は亡くなった時点）。別居の方を扶養親族等とする場合は、併せて申告書裏面㉔も記載してください。国外に扶養親族等がいる場合は、その方ごとに親族関係書類（親族であることを証明するもの）及び送金関係書類（外国送金依頼書の控え又はクレジットカードの利用明細書）の添付（外国語で作成されている場合は、翻訳文も含む）が必要です。複数人分をまとめて送金している場合は、送金関係書類に記載のある扶養親族以外の扶養控除を受けることはできません。

# 令和7年度分 市民税・県民税申告書の書き方

申告書は太線の中のみ黒色系ボールペンで記載してください。  
申告書の裏面については、申告書と一体となっている受付票の裏面に書き方があります。



受付印		令和7年1月1日現在の住所	中央5丁目14番15号		業種又は職業		
		現住所	同上	世帯主の氏名	本人		
提出年月日 年 月 日 7 2 20		フリガナ	ワラビ タロウ	続柄		生年月日	
		氏名	葎 太郎	世帯主		大平・令	30.10.1
葎市長様		個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2	電話番号	048 - 433 - 7707		
		代理申告		続柄	<input type="checkbox"/> 番号確認 <input type="checkbox"/> 委任状 <input type="checkbox"/> 身元確認 <input type="checkbox"/> 使者		

<b>③ 所得から差し引かれる金額に関する事項</b>		※太線の中のみ記載してください(網掛けの欄は記載不要です)		
社会保険の種類		支払った保険料		
⑬～⑰社会保険料控除・小規模企業共済等掛金控除	源泉徴収票に記載されている保険料の合計額	国民健康保険	260,000円	
		介護保険	50,000円	
		後期高齢者医療保険	円	
		国民年金、任意継続その他	265,000円	
源泉徴収票に記載された保険料の合計額			5,000円	
新生命保険料の計		旧生命保険料の計		
96,000円		120,000円		
新個人年金保険料の計		旧個人年金保険料の計		
48,000円		円		
介護医療保険料の計				
円				
⑯地震保険料控除		地震保険料の計	旧長期損害保険料の計	
12,000円		円	円	
本人該当区分	㉑寡婦控除(死別)(生死不明)(離婚)(未婚)	㉑勤労学生控除(学校名)		
	㉒ひとり親控除(死別)(生死不明)(離婚)(未婚)(未婚)	㉒障害者控除(身体)(精神)(療育)		
⑳医療費控除		支払った医療費等		
<input type="checkbox"/> セルフ		256,000円	120,000円	
⑳～㉓配偶者控除・配偶者特別控除・同一生計配偶者		障害の程度	身体(精神)(療育) 級度	
氏名		葎 花子	配偶者の合計所得金額	0円
生年月日		大・昭・平・令 33・9・1	該当部分を丸で囲んでください	同居(別居)(国外)
個人番号		2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3	<input type="checkbox"/> 同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く)	
氏名・生年月日		続柄	障害の程度	
フリガナ		ワラビ フトシ	身体(精神)(療育) 級度	
葎 太		子	該当部分を丸で囲んでください	
大・昭・平・令 63・12・10				
個人番号		3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4	同居(別居)(国外)	年少
フリガナ		ワラビ ハナコ	身体(精神)(療育) 級度	
葎 花		子	該当部分を丸で囲んでください	
大・昭・令 3・6・30				
個人番号		4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5	同居(別居)(国外)	年少
フリガナ		ワラビ ハジメ	身体(精神)(療育) 級度	
葎 一		孫	2	
大・昭・令 28・4・1			該当部分を丸で囲んでください	
個人番号		5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6	同居(別居)(国外)	年少
フリガナ			身体(精神)(療育) 級度	
葎 一			該当部分を丸で囲んでください	
大・昭・平・令				
個人番号			同居(別居)(国外)	年少
<input type="checkbox"/> 扶養親族なし(該当の場合、左の□に「J」を記入してください。)				

※別居の扶養親族等がいる場合には裏面㉔に氏名及び住所等を記載してください。(受付) (入力) (確認)

### 国外居住親族に係る扶養控除等の見直し

令和6年度より年齢が30歳以上70歳未満(※)の国外居住親族は扶養控除等の適用対象から除外されました。ただし、以下のいずれかの条件に該当する場合は扶養控除等の適用対象になります。

対象者	添付または提示が必要な書類 (○があるものが必要)			
	親族関係書類	送金関係書類	その他の必要書類	日本語訳
1. 留学により国外居住になった者	○	○	○ 「外国政府又は外国の地方公共団体が発行した留学の在留資格に相当する資格をもって在留者であることを証する書類」	○ 左記の各書類が外国語で書かれている場合は日本語訳が必要
2. 障害者	○	○	—	—
3. 扶養控除の申告をおこなった納税義務者から前年中に生活費又は教育費に充てるための支払いを38万以上受けている者	○	○ 親族ごとに38万円以上	—	—

※年齢は前年の12月31日現在で判定

### ① 収入金額等、② 所得金額

ア、① 営業等	販売業・製造業・卸売業・飲食業・サービス業などの営業から生じる所得。※申告書の裏面㉔に必要事項を記載し、収支内訳書を添付してください。
イ、② 農業	農産物の生産、果樹などの栽培、家畜類の飼育などから生じる所得。※申告書の裏面㉔に必要事項を記載し、収支内訳書を添付してください。
ウ、③ 不動産	建物や土地などの不動産、借地権などの不動産の上に存する権利等から生ずる所得（家賃・貸間代・地代・権利金・更新料・名義書換料等）。※申告書の裏面㉔に必要事項を記載し、収支内訳書を添付してください。
エ、④ 利子	日本国外の銀行等に預けた預金の利子等で、源泉分離課税の対象とならない利子などの所得。
オ、⑤ 配当	株式配当・剰余金の分配（出資に係るものに限る）などの所得。※申告書の裏面㉔に必要事項を記載してください。
カ 給与	給与・賃金及び賞与などの所得。 ※1. 1年間の合計額を「カ」の欄に記載し、各支払者ごとの金額等を申告書裏面の【㉕給与所得の内訳】欄に記載してください。 ※2. 所得金額を証明する書類の写しを添付してください。
キ、ク、ケ、⑧、⑨ 雑	○公的年金…国民年金、厚生年金、恩給、確定給付企業年金、確定拠出企業年金、一定の外国年金などの所得（遺族年金・障害年金は除きます）。公的年金等の収入金額「キ」に金額を記載してください。 ○業務…原稿料、講演料又はネットオークションなどを利用した個人取引若しくは食料品の配達などの副収入による所得。裏面の㉔に必要事項を記載してください。 ○その他…生命保険の年金（個人年金保険）、互助年金などの上記以外のものによる所得。裏面の㉔に必要事項を記載してください。
コ、サ 総合譲渡	車両、機械、ゴルフ会員権、特許権、著作権など、土地や建物以外の資産の譲渡による所得。資産の所有期間（5年以下か、5年を超えるか）により短期・長期に分かれています。※申告書裏面㉔に必要事項を記載してください。
シ 一時	懸賞当せん金、競輪、競馬などの払戻金、生命保険の一時金、損害保険の満期返戻金などの一時的な所得。申告書裏面㉔に必要事項を記載してください。
⑫合計	この欄は市で使用する欄ですので記載不要です。

### ④ 徴収方法

市民税・県民税が給与から差し引かれる方で、給与・公的年金等に係る所得以外（令和7年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外）の所得がある場合、それに対する市民税・県民税の納税方法が選択できます。希望の方法をチェックしてください。

### 〈参考〉給与所得控除後の給与等の金額の計算表

給与の収入金額	給与所得控除後の給与等の金額
550,999円以下	0円
551,000円～1,618,999円	－550,000円
1,619,000円～1,619,999円	1,069,000円
1,620,000円～1,621,999円	1,070,000円
1,622,000円～1,623,999円	1,072,000円
1,624,000円～1,627,999円	1,074,000円
1,628,000円～1,799,999円	年収÷4 (千円未満切捨て) 左の金額×2.4＋100,000円
1,800,000円～3,599,999円	左の金額×2.8－80,000円
3,600,000円～6,599,999円	左の金額×3.2－440,000円
6,600,000円～8,499,999円	×0.9－1,100,000円
8,500,000円以上	－1,950,000円

### 〈参考〉公的年金等の雑所得の計算表

年齢	公的年金等の収入金額	公的年金等に係る雑所得金額以外の所得に係る合計所得金額		
		1,000万円以下	1,000万円超2,000万円以下	2,000万円超
65歳未満の方(昭和35年1月2日以後に生まれた方)	1,299,999円以下	－600,000円	－500,000円	－400,000円
	1,300,000円～4,099,999円	×0.75－275,000円	×0.75－175,000円	×0.75－75,000円
	4,100,000円～7,699,999円	×0.85－685,000円	×0.85－585,000円	×0.85－485,000円
	7,700,000円～9,999,999円	×0.95－1,455,000円	×0.95－1,355,000円	×0.95－1,255,000円
65歳以上の方(昭和35年1月1日以前に生まれた方)	10,000,000円以上	－1,955,000円	－1,855,000円	－1,755,000円
	3,299,999円以下	－1,100,000円	－1,000,000円	－900,000円
	3,300,000円～4,099,999円	×0.75－275,000円	×0.75－175,000円	×0.75－75,000円
	4,100,000円～7,699,999円	×0.85－685,000円	×0.85－585,000円	×0.85－485,000円
	7,700,000円～9,999,999円	×0.95－1,455,000円	×0.95－1,355,000円	×0.95－1,255,000円
10,000,000円以上	－1,955,000円	－1,855,000円	－1,755,000円	